

サンガーデン便り

令和元年7月号

館内の見どころ

ブーゲンビレアやシコンノボタンの花が咲いています。イチジク・温州ミカン・甘夏・柿などの肥大を始めた小さな実も観察できます。2階の温室では、台湾バナナや三尺バナナの花が咲き始めます。



催し物の開催案内 場所：1階展示実習室

★7月7日(日) 園芸講座「簡単にできる挿し木・挿し芽」、午後1時30分～3時30分

★7月14日(日) 苦小牧蘭友会、「ラン展示・講習会」、午後1時～4時

★7月20日(土) ハーブ講習会「虫よけスプレー作り」午後1時30分～3時30分

★7月27日(土)～28日(日) 苦小牧アートフェステバル、サンガーデン、出光カルチャーパーク

7月の園芸作業

雨の日が続くと病気が、晴れの乾燥する日が続くと害虫が多発生します。花ガラ摘みや風通しを良くする整姿剪定も病害虫の発生軽減につながります。

★バラ・草花 戸外で咲いた草花の花からは病気の原因になります。また、種子をつけると生育が衰退することがあります。花壇やコンテナの草花は、こまめに花ガラを摘んであげましょう。コンテナ植えの場合は液肥や置き肥で追肥し栄養の補給をしてあげます。バラの葉は先の方の2～3枚は3枚葉、その下の葉は5枚葉です。花が終わったバラは、5枚葉を5枚ほど残して切り戻します。大輪のものや草丈を抑えたい場合は5枚葉を1～2枚残して剪定します。地際から勢いよく伸びたシュート(新梢)は、茎が充実し硬くなってから半分に切り詰めます。肥料は剪定の後に行います。葉に黒点が付き落葉する黒星病が発生するので、病気の葉は摘み取り、落葉した葉も拾い集めてきれいにし、葉の裏面も丁寧に薬剤防除を行いましょう。

★家庭菜園 ジャガイモは雨が少なく乾燥すると

苦小牧市サンガーデン

〒053-0011

苦小牧市末広町3丁目1番15号

☎0144-33-4411

害虫のテントウムシダマシ(オオニジュウヤホシテントウ)が多発し、葉を網目状に食害します。雨が多いと地際の下葉から疫病が発生するので、葉裏から丁寧に薬剤をかけて防除します。最後の培土(土寄せ)は蕾(つぼみ)がつくまでにすませます。スイートコーンは雄穂の見え始める頃に、マルチやトンネルを取り除き、少し追肥をして培土します。越冬貯蔵や漬物にするキャベツは中下旬に定植します。ナスとピーマンは支柱を立て、枝が水平より上向きになるよう誘引し、生育を見ながら適宜追肥をします。

★洋ラン カトレア、オンシジウム、エビデンドラムなど高温性のラン類も、夜温が15℃以上となるので安心して戸外に出せます。葉焼けしないよう明るい日陰や寒冷紗の覆いの下で、吊り鉢または棚上で管理します。旺盛な生育に応じたかん水と施肥を行います。

★果樹・庭木 イチイは、刈り込み剪定の時期です。ナシ、リンゴ、ブドウ、プルーンの摘果(房)が未だの場合は速やかに済ませ、袋かけは摘果後早めに終わらせます。



苦小牧の気象

7月の太平洋側は、湿った気流や気圧の谷の影響を受け、平均気温は平年並みか低い、降水量はほぼ平年並み、日照時間は少ないと予報されています。病害の多発生に注意してください。

